

月刊 MARUSHO

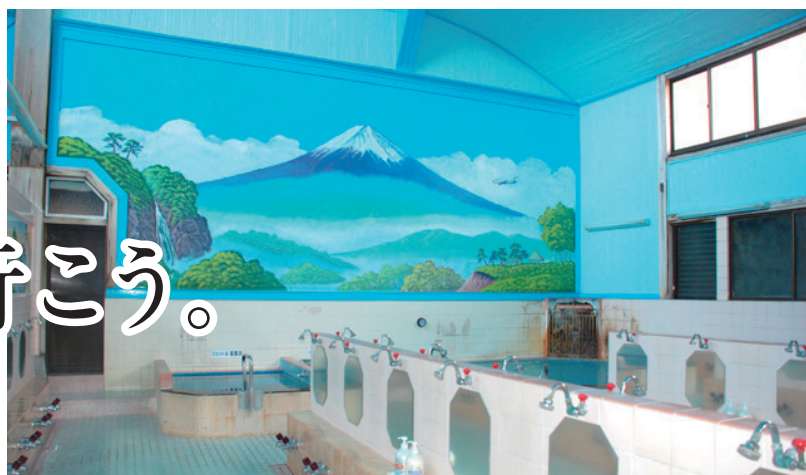
2017年 12月号

丸庄発、選りすぐりの情報をお届けします。



運を取り込んで来年も良い年にしましょう

今年の冬至は 12月22日 そうだ 銭湯、行こう。



冬至といえば、かぼちゃと柚子(ゆず)湯! 一般的には、風邪をひかないためや語呂合せとされていますが、本当にそれだけ?……いえいえ、ちゃんと理由があります。しかも、冬至は幸運を招くすてきなイベントなのです。

かぼちゃを食べる理由は運を取り込むため

冬至には「ん」のつくものを食べると「運」が呼びこめるといわれています。にんじん、だいこん、れんこん、うどん、ぎんなん、きんかん……など「ん」のつくものを運盛りといい、縁起をかついでいました。かぼちゃは漢字で書くと南瓜(なんきん)。

かぼちゃは夏野菜ということもあり、陰(太陽の力が弱い日)に陽を多く含む物を食べるという意味もあるそうです。また、運盛りは縁起かつぎだけでなく、風邪や中風(脳血管疾患)予防に栄養をつけて寒い冬を乗りきるための賢人の知恵でもあります。



柚子湯に入りたいなら足立区へ

冬至に柚子湯に入る由来は、運を呼び込む前に体を清めるための禊(みそぎ)だと考えられています。また「融通」が効く「湯治」=「柚子」が効く「冬至」こうした語呂合せの要素もあったようです。

柚子湯には血行を促進して冷え性を緩和したり、体を温めて風邪を予防したり、果皮に含まれるクエン酸やビタミンCによる美肌効果があります。さらに、芳香によるリラックス効果もありますから、元気に冬を越すために大いに役立ちます。



冬至とは 北半球において太陽の位置が1年で最も低くなる日、日照時間が最も短くなります。1年で最も日が短いということは、翌日から日が長くなっていくということ。中国や日本では、冬至は太陽の力が一番弱まった日であり、この日を境に再び力が甦ってくることから、「一陽来復」と言って、冬至を境に運が上向くとされています。

そんな柚子湯に入りたいならば、銭湯がおススメです。足立区にある銭湯でも冬至にちなんで柚子湯のイベントを多く開催しています。中でも足立区は個性豊かな銭湯が多く、いつも賑わっています。たまには、一風呂浴びに訪れてみてはいかがでしょうか?

■足立区浴場連合会公式サイト

<http://adachi1010.tokyo>

足立区にある銭湯の詳細を一覧でみることができます。

■東京銭湯マップ

<http://www.1010.or.jp/>

東京都にある銭湯を検索することができます。

■銭湯東京マップ(アプリ)

東京都にある銭湯情報を見ることができ、現在地から近くの銭湯を検索することが可能です。

Facebookでも丸庄製品情報はもちろん、足立区の銭湯情報を掲載しています。

励みになりますので、皆さんの

[いいね!](#) をお待ちしております!





だるまの豆知識

今では赤くて丸い形で老若男女から親しまれている「だるま」ですが、そのモデルは禅宗の「菩提達磨(ぼだいだるま)」というお坊さんです。彼は、魏(今の中国)の高山(すうざん)にある少林寺で、9年間壁に向かって座禅を組む修行をしたそうです。実は、「だるま」に見られるいくつかの特徴は、ちょっぴり怖い理由がありました。



だるまの特徴

まん丸な目

「だるま」は大きな丸い目が特徴ですが、なぜそんな目をしているのでしょうか。それは、先ほど「菩提達磨」が9年間壁に向かって座禅をしていたとご紹介しましたが、その修行中にうとうとと眠ってしまわないために、まぶたを切り落としたためです。大きな丸い目にそんな理由があったとはびっくりです!

手足がない

起き上がりこぼしのような形をしている「だるま」。人がモデルなのに、どうして手足がないのでしょうか。それは、「菩提達磨」が9年間座禅をし続けた結果、手足が腐ってしまったからです。スティックですね…。理由を聞くと、少し怖いですね。「七転び八起き」からきているのかと思っていました。

その他の特徴として太い眉毛、髭など地方によって、描かれているものは少しずつ違いますが、記号化された縁起物が描かれています。

眉・・・鶴、稲穂、寿

耳ひげ・・・松と梅

髭・・・亀、竹、鶴

胴体部分にすっと縦に引かれた線は、竹を表わしているのだそうです。

だるまの色の意味

モデルとなった「菩提達磨」は最高位である赤い法衣を着ていたため、「だるま」は赤色がスタンダードカラーになったそうですが、他の色のだるまも見かけます。それぞれどんな意味があるのでしょうか?

赤色・・・「家内安全」や「開運吉祥」

黄色・・・「金運・幸運の向上」

緑色・・・「身体健勝」や「才能開花」

黒色・・・「商売繁盛」や「事業繁栄」

商売をやっている方は、かっこいい黒色の「だるま」を飾るといいのかもしれませんが!

だるまの目はどちらから?

片方の目に願い事をして描き入れ、叶ったらもう片方の目を描き入れる。だるまの目入れは一発勝負であるため、描き入れる時は、誰でも緊張する瞬間ではないでしょうか? そしてよく訪れる疑問「どちらから?」改めて復習しておきましょう。

①カレンダーで大安や友引、先勝など吉日を選びます。

②墨をすり、心を鎮めます。

③筆に墨を含ませ、だるまの目は、向かって右目(だるまの左目)から描き入れ願掛けをしましょう。

④満願叶った時は、大晦日の日に来し方を振り返り感謝の気持ちを込めて、もう一方の目を描き入れましょう。

⑤だるまは、だるま市(東京の深大寺)などである、お焚上げに納めて供養しましょう。

ニッチな情報を毎週水曜日配信中心! ▶ [週刊marusho](#)

展示会・イベント会場で大活躍!!

貼ってラクラクロス

貼ってはがせる仕様なので何度も繰り返し使えます。さらに付属の厚紙と一緒に丸めるだけで手間をかけずに保存でき、遠方への発送も可能です。

12月中にご注文いただいたお客様を対象にデザイン制作からの場合は表示価格より10%印刷のみの場合は5%割引致します。この機会にぜひご注文ください。

詳しいご質問・お問い合わせは弊社営業担当まで。

Tel. 03-3881-2131(代)

まるカタ Vol.7
P.38 に掲載



のり跡やキズが残らず
何度も貼ってはがせる!



貼ってラクラクロス

1m あたり: **¥10,000**

サイズ: W1230mm × H1m
最大サイズ: W1230mm × H20m まで印刷可能
印刷方法: インクジェット
素材: 薄手ターボリン
最短納期: 約1週間